

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

a

男子 ・女子 回戦 準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
水海道第二高等学校	25	10 - 9	22	名古屋経済大学市邨高等学校
		9 - 10		
		4 - 1		
		2 - 2		
		7mTC		

昨年度の選抜大会決勝と同じカードになった準々決勝、水海道のスローオフで試合開始。水海道

は速いパス回しからカットイン、市邨はロングシュートで対抗するがお互いの厚い守備に阻まれ9分

過ぎて2対1と緊迫した入りとなった。市邨が⑭のロングシュート、⑱と⑬のコンビプレーで2点リ

ードするも水海道はダブルポストの展開で緩急をつけながら④のカットイン、⑤のポストシュートで

リードを許さず18分速攻の連続得点でこの試合初めてのリードをする。その後は一進一退の展開で

前半は水海道が1点リードで折り返す。後半水海道は④のロングシュート、⑪のサイドシュートで得

点を重ねる。対する市邨も⑱がうまくパスを配給し得点に繋げる。両チーム退場が出ながらも非常に

足の動いたDFとGKのファインセーブもあり緊迫したゲーム展開が続く。その中20分過ぎに水海道

が連続速攻と7人攻撃からの得点で2点リードする。そのままいくかに見えたが、市邨が⑥の連続得

点で追いつき延長へ。延長は水海道④が勝負所できっちりと得点を重ね勝負を決めた。

2017年 3月 27日

記載者氏名 野路 良子

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

b

男子 ・女子 回戦 準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名																					
不来方高等学校	22	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>7mTC</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	12	-	15	10	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7mTC	-	-	33	明光学園高等学校
12	-	15																							
10	-	18																							
-	-	-																							
-	-	-																							
-	-	-																							
-	-	-																							
7mTC	-	-																							

大会4日目準々決勝第2試合は、昨日の接戦を勝利しベスト8に勝ち進んだ不来方高校と高松商業との接戦を制し勢いに乗る明光学園の対戦。不来方のスローオフで試合開始。4番新沼のロングシュートで先制した不来方に対し、高いDFでボールを奪い3連取する明光学園。両者とも堅いDFからの速攻で序盤は一進一退の攻防。明光学園7番尾辻のミドルシュートが連続で決まり、3点差がついたところで、不来方はタイムアウトを請求。その後両チームGKの好セーブもあり3点差のまま試合は進み、前半15-12明光学園のリードで終了。後半開始から不来方はGKを下げ7人攻撃を仕掛け両サイドから加点するが、明光学園は速攻やターンオーバーで着実に得点し後半15分10点差となった。その後も不来方は懸命のDFと5番中村のロングシュートで食らいつくが、明光学園も10番中嶋のフェイントからのシュートやミドルシュートで流れを渡さない。不来方は7人攻撃を続け巻き返しを図るが、明光学園DFは最後まで固くGK16番木下の好セーブも光った。九州地区代表明光学園がベスト4へと勝ち上がった。

2017年 3月 27日

記者氏名 横内 靖 幸